

第117期 中間報告書

自 平成28年12月 1 日
至 平成29年 5 月31日

株式會社 小島鐵工所

群馬県高崎市劍崎町155番地

第117期 中間報告書

平成28年12月1日から平成29年5月31日に至る第117期上半期の事業の概要及び諸計算を次の通りご報告申し上げます。

事業概要

当中間期におけるわが国経済は、好調な輸出および生産を背景に緩やかな回復が続いており、関連する製造業界の景況感を上向かせている状況下にあります。

こうしたなかで、当社は受注・生産・管理部門の力を結集して受注活動を推し進めるとともに、引き続きコスト削減に努め、収益力の改善・向上に取り組んでまいりました。

受注状況につきましては、当中間期の受注高は、国内製造業界の緩やかな回復状況を背景に、製鉄・鉄鋼・建設機械業界等を軸として順調に拡大傾向を続けており、前年同期（4億42百万円）から11億54百万円へと大きく飛躍することができました。また受注残高につきましても、前年同期末（7億21百万円）に対し約倍増となる16億84百万円を確保できており、下期の売上増加に期待しているところでございます。現在、国内外の鍛造・製鉄業界を中心に引き合いが浮上している大型案件の成約に向け全力で取り組んでおり、一層の受注増加を目指しているところでございます。

売上状況につきましては、一部の請負工事物件については工事進行基準を適用して売上処理を行っておりますが、当中間期の売上高は、受注時期の関係から、納期が当下期以降に到来する大型案件が多いため、工事進行に係る売上が進まず、目標数値（8億円）及び前年同期（8億68百万円）を下回る6億14百万円の計上に止まりました。

利益面につきましては、引き続き原価低減や諸経費全般に亘る削減に努めており、それなりの効果がみられているものの、固定費を吸収できる売上高に至らず、中間純損失は、不本意ながら前年同期純損失（41百万円）を超える81百万円となりました。

対処すべき当面の課題につきましては、受注の確保に取り組むことが最重要課題であります。

今後につきましては、緩やかながらも回復傾向にある経済環境を追い風に、営業戦略面の見直し・強化を徹底し、全社一丸となって受注優先に取り組み、現在、引き合い活発な製鉄・鍛造・造船等の各分野にわたる案件の受注成約に向け全力をあげているところであります。

生産状況につきましては、引き続き設計・資材・製造・営業各部門間の連携強化と採算重視戦略を追求し、新規導入した大型機械を始め、生産諸設備の積極的な活用により効率的・短納期生産を推し進めてまいります。また、弊社の今後を見据え、教育機関の有効活用を行いながら若手・中間層の技術者育成を図り、今後一層の業績改善に努め、黒字体質の実現を図っていく所存であります。

以上

中間貸借対照表

(平成29年5月31日現在)

(単位千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	2,618,460	流動負債	2,441,796
現金及び預金	2,206,185	支払手形	225,486
受取手形	82,073	買掛金	83,725
売掛金	202,400	短期借入金	1,530,000
仕掛品	83,943	リース債務	18,220
原材料	30,481	未払金	8,843
その他の流動資産	13,375	未払費用	7,000
固定資産	712,989	未払法人税等	2,400
有形固定資産	638,577	前受金	495,354
建物	141,902	賞与引当金	49,700
賃貸用建物	199,744	設備支払手形	17,042
構築物	5,212	その他の流動負債	4,023
機械及び装置	130,238	固定負債	202,502
車輛運搬具	10,632	リース債務	30,553
工具、器具及び備品	18,327	繰延税金負債	1,696
土地	118,243	退職給付引当金	70,252
リース資産	14,275	長期預り敷金	100,000
無形固定資産	34,005	負債合計	2,644,299
特許権	1,059	純資産の部	
ソフトウェア	996	株主資本	683,277
リース資産	30,750	資本金	501,782
電話加入権	1,200	資本剰余金	5,373
投資等	40,405	資本準備金	5,373
投資有価証券	16,430	利益剰余金	181,936
関係会社株式	10,000	利益準備金	125,445
出資金	1,575	繰越利益剰余金	56,490
その他の投資	12,399	自己株式	△5,815
		評価・換算差額等	3,872
		その他有価証券評価差額金	3,872
資産合計	3,331,449	純資産合計	687,150
		負債純資産合計	3,331,449

(注) 1. 記載金額は千円未満を切捨表示しています。

2. 有形固定資産の減価償却累計額 2,051,910千円

中間損益計算書

（自 平成28年12月1日）
（至 平成29年5月31日）

(単位千円)

科 目	金 額
売 上 高	614,590
売 上 原 価	585,449
売 上 総 利 益	29,140
販売費及び一般管理費	126,318
営 業 損 失	△97,177
営 業 外 収 益	33,963
受 取 利 息	15
受 取 賃 貸 料	31,176
そ の 他	2,772
営 業 外 費 用	25,564
支 払 利 息	11,584
不 動 産 賃 貸 費 用	13,631
そ の 他	348
経 常 損 失	△88,778
特 別 利 益	7,824
固 定 資 産 売 却 益	7,824
税 引 前 中 間 純 損 失	△80,953
法人税、住民税及び事業税	504
中 間 純 損 失	△81,457

(注) 記載金額は千円未満を切捨表示しています。

中間株主資本等変動計算書

(自 平成28年12月 1 日)
(至 平成29年 5 月31日)
(単位千円)

項 目	株主資本	
	資本金	資本剰余金 資本準備金
平成28年11月30日残高	501,782	5,373
中間会計期間中の変動額		
剰余金の配当	-	-
中間純損失 (△)	-	-
自己株式の取得	-	-
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)	-	-
中間会計期間中の変動額合計	-	-
平成29年 5 月31日残高	501,782	5,373

項 目	株 主 資 本			
	利 益 剰 余 金		自己株式	株主資本 合 計
	利 益 準備金	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金		
平成28年11月30日残高	125,445	137,948	△5,783	764,767
中間会計期間中の変動額				
剰余金の配当	-	-	-	-
中間純損失 (△)	-	△81,457	-	△81,457
自己株式の取得	-	-	△32	△32
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-
中間会計期間中の変動額合計	-	△81,457	△32	△81,490
平成29年 5 月31日残高	125,445	56,490	△5,815	683,277

項 目	評価・換算差額等		純資産 合 計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額	
平成28年11月30日残高	3,854	3,854	768,622
中間会計期間中の変動額			
剰余金の配当	-	-	-
中間純損失 (△)	-	-	△81,457
自己株式の取得	-	-	△32
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)	18	18	18
中間会計期間中の変動額合計	18	18	△81,471
平成29年 5 月31日残高	3,872	3,872	687,150

(注) 記載金額は千円未満を切捨表示しています。

以上の通りであります。

〔取締役及び監査役〕

代表取締役会長	児	玉	三	郎
代表取締役社長	児	玉	正	蔵
取締役相談役	児	玉	恒	二
取締役 (執行役員 副社長)	星	野	文	男
取締役 (専務執行役員 工場長)	櫛	渕	洋	二
取締役 (常務執行役員 営業本部長)	塩	澤	成	仁
取締役 (執行役員)	田	中	教	司
取締役	児	玉	太郎	彦
常勤監査役	佐	野	正	明
監査役	城	田	義	明
監査役	忠	永	和	治

〔執行役員〕

執行役員	高	瀬	勝	美
執行役員	品	川	一	弥
執行役員	力	石	雅	之
執行役員	矢	嶋	佳	正
執行役員	小	林	義	弘

会 社 の 概 要

商 号	株式会社 小島鐵工所 Kojima Iron Works Co., Ltd.
本 店	群馬県高崎市剣崎町155番地
創 業	文化6年（1809年）
設 立	昭和11年6月1日
資 本 金	501,782,350円
発行済株式数	10,035,647株
主 要 事 業	各種油圧プレス及び同関連装置

株 主 メ モ

事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
期末配当金及び 中間配当金	期末配当金は毎年11月30日現在の株主に、中間配当を行う場合は毎年5月31日現在の株主にそれぞれ支払います。
定時株主総会	毎年2月
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1-4-5 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所 名古屋証券取引所
公告掲載新聞	日本経済新聞

